

## 事業評価票（デジタル関係予算）

1	ドローンの活用による物資輸送体制の強化（総務局総合防災部）	区分	その他ICT	運用開始	令和 2 年度	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害による孤立地域の発生が想定される西多摩地域内において、ドローンによる物資の緊急搬送の実施に向けた事前の調査・実証実験を行い、災害時における孤立地域への迅速かつ確実な物資搬送体制の構築を目指す。</li> </ul>					
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度台風19号において、奥多摩町で発生した孤立地域に対し、ドローンによる物資の緊急搬送を実施。その際、適切な離発着地の確保や飛行環境の調査、国土交通省への飛行申請等が必要となるなど、準備段階からの課題が判明した。</li> <li>事前の調査等を踏まえたモデルルートの作成や実証実験により、ドローンを活用した孤立地域への迅速な物資搬送体制を構築する必要がある。</li> </ul>					
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に、奥多摩町・日の出町・檜原村において、①飛行環境（電波環境や支障物等）調査、②調査を踏まえた、離発着地及びその間のモデルルートの設定、飛行可能条件等の整理、③国土交通省への飛行申請等、各モデルルートにおける物資搬送の実証実験を実施した。</li> <li>令和3年度については、2年度の実績を踏まえ、青梅市・八王子市・あきる野市において、同様の調査・実証実験等を実施するための経費を計上する。</li> <li>調査等により得た有効性を踏まえ、ドローン事業者との機体・操縦者の確保等に関する災害時協定等により、物資搬送体制の構築を目指す。</li> </ul>			拡大 充実	見直し 再構築	
				移管 終了	その他	
				3年度見積額		
				30,980 千円		
				2年度予算額		
				17,000 千円		
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>国が示す「成長戦略フォローアップ案」においても、令和4年度を目途に、ドローンの有人地帯での荷物配送などのサービスの実現が掲げられているとおり、IoTの利点を活用した有意義な事業である。</li> <li>ドローンの物資搬送体制の構築に向けては、飛行環境の特性等を把握し、飛行時の安全性を十分に加味した上での計画を策定することが重要である。</li> </ul>			実効性・実現性 からの評価		
				拡大 充実	見直し 再構築	
				移管 終了	その他	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術の活用により、災害時における孤立地域への迅速かつ確実な物資搬送体制の構築が可能となるなど必要性が認められることから、見積額のとおり計上する。</li> </ul>			拡大 充実	見直し 再構築	
				移管 終了	その他	
				3年度予算額		
				30,980 千円		
2	庁内警備（庁内警備のデジタル技術活用に係る実証実験） (総務局総務部)	区分	その他ICT	運用開始	令和 2 年度	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロボット技術は、巡回、立哨、案内業務等の負担軽減を目的に、警備分野においても開発が進んでいる。広大な都庁舎では、人手不足の影響により、巡回業務の警備員への負担が特に大きい。ロボット活用の実証実験を行い、人的負担の軽減、機械化の可能性を検証する。</li> </ul>					
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>都庁舎は、日本有数の高層ビルかつ開かれた設計であり、多くのVIPが日々来庁すること等から警備は大規模なものとなっており、警備業界の人手不足による影響は非常に大きい。都庁舎を安定的に管理し、かつ、警備員の負担の平準化を図るためには、デジタル技術の適切な活用による警備の機械化、警備員の能力強化が不可避である。一方、警備ロボット導入の効果を最大化するため、他のデジタル技術と組み合わせる等、効率的な活用方法を把握する必要がある。</li> </ul>					
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は、警備ロボットが都庁舎における巡回業務を担うことができるかを検証し、必要と認められる警備ロボットの機能・性能等について分析するとともに、その活用方法と効果の評価方法を検討し、導入に当たって事前に解決すべき課題について把握するための実証実験を実施した。</li> <li>令和3年度は、警備ロボットを効率的かつ効果的に活用するため、警備ロボットの活用スキームと共通項があり、併用による相乗効果が期待される先端技術と警備ロボットの併用可能性を検証するための経費を計上する。</li> <li>これらの取組により、先端技術の最適な活用による効率的かつ効果的で、接触機会を低減した庁内警備の実現を図っていく。</li> </ul>			拡大 充実	見直し 再構築	
				移管 終了	その他	
				3年度見積額		
				24,903 千円		
				2年度予算額		
				39,582 千円		
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>実導入に向けては、警備員とロボットの役割分担を踏まえた業務プロセスの整備が不可欠であり、実際の業務の中で効果を検証することは重要である。</li> <li>都庁舎は不特定多数の方が日々出入りし、多くの警備員を要する施設である。警備業界の深刻な人手不足が続く中、安定した警備業務の継続のため、ロボット等先端技術を活用した効率的かつ効果的な警備体制の早期確立が必要である。</li> </ul>			実効性・実現性 からの評価		
				拡大 充実	見直し 再構築	
				移管 終了	その他	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術の活用により、効率的かつ効果的な警備体制の確立が見込まれることから、見積額のとおり計上する。</li> </ul>			拡大 充実	見直し 再構築	
				移管 終了	その他	
				3年度予算額		
				24,903 千円		

## 事業評価票（デジタル関係予算）

3	電子調達システム（財務局経理部）	区分	情報システム	運用開始	平成 13 年度	
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札情報、資格審査、電子入札、契約事務の各機能からなる調達業務を支援するシステムである。平成22年度から公営企業局で運用する同様のシステムと統合した新システムを再構築し、25年1月から全面的に新システムへ移行した。</li> </ul>					
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営事項審査基準の改正や東京都契約制度改正に対応するためのシステム改修が必要である。</li> </ul>					
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>調達事務が滞ることがないように確実に安全な運用を行う。</li> <li>システムの稼動状況を詳細に監視し、更なる品質向上及び安定稼動に向けてシステム及び運用の改善を行う。</li> <li>制度改正等に対応するため、システム改修等を行う。また、公営企業局における制度改正や事務処理変更についても、一次窓口として財務局が対応する。</li> </ul> <p>【令和3年度見積事項】 制度改正等対応に伴う改修経費、運用経費、機器賃借経費、Webサーバ保守経費、経営事項審査等データ利用料、回線使用料、コアシステム保守料等</p>			<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>拡大充実</span> <span>見直し再構築</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>移管終了</span> <span>その他</span> </div> </div>	3年度見積額	817,292 千円
					2年度予算額	539,592 千円
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度改正等対応に係る経費のうち、電子契約の実現に係る経費については、必要性が認められるが、調達までに更なる要件の詳細化が必要である。</li> <li>運用に係る経費については、運用実績に基づき積算されており妥当である。</li> <li>機器賃借に係る経費については、契約実績に基づき積算されており妥当である。</li> <li>Webサーバの保守経費については、作業内容や機器構成等について引き続き見直しを要する。</li> </ul>			<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>拡大充実</span> <span>見直し再構築</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>移管終了</span> <span>その他</span> </div> </div>	3年度所要額	817,292 千円
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>			<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>拡大充実</span> <span>見直し再構築</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>移管終了</span> <span>その他</span> </div> </div>	3年度予算額	817,292 千円
4	RPAを活用した帳票のデータ化モデル事業 (デジタルサービス局)	区分	その他ICT	運用開始	令和 2 年度	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>汎用的・効率的に処理が可能なRPA技術等を活用し、都が既に所有する膨大な紙ベース等の帳票を利用可能なデータとし、シームレスにこれまでのデータ資産の有効活用を図る。</li> <li>令和3年度は、2年度における取組状況を踏まえ、各局での物件管理・予防保全等に活用できる形式に加工する実証実験を引き続き行い、庁内で電子化する帳票の検討を進める。</li> </ul>					
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>各局各事業でデータを活用し、EBPMに基づいた施策を展開していくためには、膨大な行政データや民間データをデジタルツールを活用して分析していくことが必要となるが、その分析・判断の基となる各局事業の電子データ化（資産化）は進んでおらず、特にインフラ関連においては、情報の多くは紙ベースのまま蓄積されている。そのため、各局の「データ収集・蓄積」、「分析・予測」が促進されず、データを有効に活用できていない。</li> </ul>					
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は都市整備局の建築計画概要書等を対象に実証実験を行っており、保全性・検索性に優れたデータへの置き換えについて、技術的な有効性が確認できたことから、3年度は実施規模も精査した上で、紙媒体で保管されている。点検データなどをAI-OCR技術を用いて電子化し、RPAによってその他異なるフォーマットで保管されている図面等のデータと合わせ、物件管理・予防保全等に活用できる形式に加工する実証実験に係る経費を計上する。</li> </ul> <p>【令和3年度見積事項】 帳票取り込み機器レンタル・RPA及びAI-OCRライセンス使用料、帳票取り込み作業委託経費、既存システムへのデータ連携作業経費、帳票カスタマイズ経費等</p>			<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>拡大充実</span> <span>見直し再構築</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>移管終了</span> <span>その他</span> </div> </div>	3年度見積額	30,552 千円
					2年度予算額	50,001 千円
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務情報の蓄積である帳票のデータ化は、時系列分析やナレッジ継承の観点から都が推進するデジタルトランスフォーメーションの趣旨に合致したものであり、全庁的な取組として推進していくことが必要である。</li> <li>帳票の効率的なデータ化に向け、非定形帳票など読取精度の向上が進むAI-OCRや業務プロセスの自動化などのテクノロジーを活用し、更なる業務の効率化につなげていくことが重要である。</li> </ul>			<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>拡大充実</span> <span>見直し再構築</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>移管終了</span> <span>その他</span> </div> </div>	実効性・実現性からの評価	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術の活用により、費用対効果の向上や行政サービスの質の一層の向上が見込まれることから、見積額のとおり計上する。</li> </ul>			<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>拡大充実</span> <span>見直し再構築</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>移管終了</span> <span>その他</span> </div> </div>	3年度予算額	30,552 千円

## 事業評価票（デジタル関係予算）

5	税務総合支援システム（主税局税制部）	区分	情報システム	運用開始	平成 17 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>都税について、課税から収入管理・滞納整理まで一貫した処理を実現するとともに、多くの外部機関とのデータ連携を実現するシステムである。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>税制改正、社会保障・税番号利用等に対応するために必要なシステム改修経費を見込む必要がある。</li> <li>全面稼働から15年が経ち、システム経費の高止まりに対応するとともに、税務行政を高度化するための再構築を着実に実施していく必要がある。</li> </ul>				
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器の調達をオンサイトアウトソーシング（運用管理と機器提供を一括で調達）し、当該システムの安定稼働に係る経費を計上する。</li> <li>税制改正等対応、納税者サービスの向上に資するシステム改修に係る経費を計上する。</li> <li>当該システムの再構築のため、機能や規模・経費を精査した上で、必要な経費を計上する。</li> </ul> <p>【効果】納税者サービスの向上と税務事務の効率化、システムの安定稼働</p>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度見積額			
		9,336,273 千円			
		2年度予算額			
		7,723,649 千円			
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンサイトアウトソーシングに係る経費については、調達内容はおおむね妥当だが、積算については、調達までに引き続き精査が必要である。</li> <li>システム改修に係る経費については、内容精査による見直しが必要である。</li> <li>再構築に係る経費については、令和2年度実施の要件定義検討内容を検証した上での予算執行が求められる。また、ベンダーロックの排除に向けて留意する必要がある。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度所要額			
		9,290,148 千円			
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に加え、必要経費について、内容を精査し一部減額調整を行った。</li> <li>加えて、要件定義支援委託においては、次期税務総合支援システムの再構築に向けて詳細な検討を行い、費用対効果を踏まえつつ、必要な機能や規模、経費の一層の精査をしていく必要がある。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度予算額			
		9,285,743 千円			
6	建築確認等電子申請化（都市整備局市街地建築部）	区分	情報システム	運用開始	令和 5 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都が実施する建築確認等の建築基準法関係手続について、電子申請を可能とし、申請された電子データをオンライン環境において審査できる体制を作るためのシステムである。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、建築確認申請等の手続では、紙による図書の受付、審査を行っており、申請者は申請書の提出や審査対応等で、複数回来庁する必要がある。</li> <li>また、受付、審査、確認済証交付のプロセスの中で、区役所、東京都建築指導課、所管消防署が関与し、それぞれのプロセスで図書一式を紙でやりとりする必要があり、多くの時間と手間がかかっている。</li> </ul>				
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築確認手続等の電子申請に係るシステム構成の検討、申請及び審査に係るインターフェースの検討、検討の深度化のためのトライアル等に係る経費を計上する。</li> <li>電子申請化によって、申請者の窓口への来所が不要となり、来庁回数の削減が図られるとともに、書類をデータでやりとりすることにより、紙の削減、審査の円滑化による時間短縮も図られ、都民サービス向上が見込まれる。</li> </ul> <p>【令和3年度見積事項】 システム構成の検討経費、トライアル実施経費</p>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度見積額			
		60,200 千円			
		2年度予算額			
		- 千円			
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築確認の電子申請化に向けた、業務調査及びシステム構成検討等に係る経費については、想定委託内容を具体的に検討した上で、積算を行っており、妥当である。</li> <li>ただし、現時点では電子申請化に関する要件には流動的な部分も存在することから、調達までに、更なる要件の詳細化が必要である。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度所要額			
		60,200 千円			
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築基準法関係手続の電子化により、費用対効果の向上や行政サービスの質の一層の向上が見込まれることから、見積額のとおり計上する。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度予算額			
		60,200 千円			

## 事業評価票（デジタル関係予算）

7	都市の3Dデジタルマップ化（都市整備局都市づくり政策部）	区分	その他ICT	運用開始	令和 4 年度		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな社会におけるデジタルツインの実現を支える最先端の地理情報基盤として、官民が保有する各種3Dデータを連携させることで「都市の3Dデジタルマップ」を構築し、都民のQOL向上を目指す。</li> </ul>						
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルトランスフォーメーションの加速化のためには、都市の図面を2Dから3Dに精緻化し、リアルタイムデータの付加も視野に入れた新たな地図である「都市の3Dデジタルマップ」の構築が求められている。</li> <li>3Dデジタルマップの作成に当たっては、各主体が保有する3Dデータの連携や、データ収集方法の検討、持続的な管理・運用システムの構築が必要である。</li> </ul>						
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>官民が所有する既存の3次元データ（建物状況、都市計画、土地利用、地形・地質等）を基に、モデルエリアにおいて、3Dデジタルマップの作成を行う。</li> <li>また、データ整備が進んでいない地下空間において、3次元データの取得を行い、地上部との連携について検討する。</li> <li>3Dデジタルマップの構築により、政策検討ツールや都市施設の整備・管理等の高度化、各種ビッグデータと連携した高度なシミュレーション等の活用における基盤となることが見込まれる。</li> </ul>			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">拡大 充実</div>	見直し 再構築	移管 終了	その他
<b>3年度見積額</b>							
70,838 千円							
<b>2年度予算額</b>							
50,000 千円							
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市におけるデジタルトランスフォーメーションの実現に向けては、「都市の3Dデジタルマップ」はその基盤として不可欠であり、世界のDX先進都市の多くは、3Dデジタルマップ整備に先行して取り組んでいる。</li> <li>その実現に向けては官民が連携して取り組むことが不可欠であり、都が率先してデータ化を進めていくことが重要であることから、本事業は有意義と考える。</li> </ul>			<b>実効性・実現性 からの評価</b>		移管 終了	その他
<b>3年度見積額</b>							
70,838 千円							
<b>2年度予算額</b>							
50,000 千円							
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>都民のQOL向上に向けた新たな社会におけるデジタルツインの実現に向けて、都市の3Dデジタルマップの構築を進めていくことにより、都市政策へ大きく寄与することが可能となることから、見積額のとおり計上する。</li> </ul>			<b>実効性・実現性 からの評価</b>		移管 終了	その他
<b>3年度見積額</b>							
70,838 千円							
<b>2年度予算額</b>							
50,000 千円							

  

8	事業系廃棄物の3Rルート多様化事業（環境局資源循環推進部）	区分	その他ICT	運用開始	令和 3 年度		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業系廃棄物の分別からリサイクルまでのプロセスに関与する廃棄物処理業者、プラントメーカー等と連携し、3Rの高度化等に向けた実証事業等を行い、3Rルートの多様化を行う。</li> </ul>						
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物等のリサイクルレベルを高めるためには、廃棄・破砕された廃棄物をプラスチックや紙などの素材ごとに選別し、マテリアルリサイクルやケミカルリサイクルに適した素材を集めることが必要である。</li> <li>しかし、処理施設等での選別作業は人手に頼っていることから、選別レベルに限界がある。</li> <li>そこで、既存の技術や仕組みを組み合わせ、人手に依存している作業工程にAIやロボティクス技術を活用し、廃棄物処理の高度化、新たなリサイクルルートの開拓につなげていく。</li> </ul>						
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物処理、リサイクルシステムに既存のAI・ICT技術や仕組みを効果的に組み合わせ、実際の現場レベルに当てはめたモデル事業等を実施することで、新たなリサイクルルートの構築による生産性向上率、環境負荷削減効果、必要経費等の課題の検証を実施する。</li> <li>新たなルートの構築により人手に依存する廃棄物処理のシステム合理化、自動化につながるだけでなく、新型コロナウイルス感染症等の感染リスク抑制にも寄与する。</li> </ul>			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">拡大 充実</div>	見直し 再構築	移管 終了	その他
<b>3年度見積額</b>							
30,407 千円							
<b>2年度予算額</b>							
- 千円							
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像処理や各種センサーによる認識・検知の技術は日々進歩し、製造現場などにおいて不良品の選別などにも普及されており、廃棄物処理の分野においても活用が期待できる。</li> <li>AIの効果的な活用など、廃棄物処理特有のワークフローの検証を進めるとともに、アフターコロナを見据え、非接触・自動化に向け、ICTを活用して業務の効率化につなげていく必要がある。</li> </ul>			<b>実効性・実現性 からの評価</b>		移管 終了	その他
<b>3年度見積額</b>							
30,396 千円							
<b>2年度予算額</b>							
-							
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>実証経費については、必要な件数に基づいて積算されており、妥当である。</li> <li>実証の成果を業界関係者にフィードバックすることで、技術開発の更なる促進や実装化に向けて後押ししていく必要がある。</li> </ul>			<b>実効性・実現性 からの評価</b>		移管 終了	その他
<b>3年度見積額</b>							
30,396 千円							
<b>2年度予算額</b>							
-							

## 事業評価票（デジタル関係予算）

9	北療育医療センターの運営（福祉保健局障害施策推進部）	区分	情報システム	運用開始	令和 3 年度	
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在紙で運用しているカルテ関連業務を電子化し、業務の効率化及び利用者サービスの向上を図るためのシステムである。</li> </ul>					
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>北療育医療センターは、多部門・多職種により構成され、診療記録等情報が多岐にわたっているが、これらの情報が電子化・ネットワーク化されておらず、記録類の搬送などの業務負担が生じており、誤読による事故の発生も懸念される。また、医事会計においても紙伝票を職員がシステムに入力しており、内容照会も含めると毎月多大な請求事務が生じていることから、効率性の向上が必要である。</li> </ul>					
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターにおいて、療育施設電子カルテシステム等導入基本計画に基づき、オーダーリングシステムを導入する。</li> <li>開発委託に当たっては、総合評価において、後年度に係る経費を評価することによって、システムのライフサイクル全般に係る経費を抑制する。</li> </ul> <p>【令和3年度見積事項】 オーダーリングシステム開発委託経費、運営保守経費、機器リース経費</p>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築 その他	3年度見積額 42,803 千円 2年度予算額 - 千円
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の課題に対応するため、オーダーリングシステムの導入の必要性は高く、導入による効果も認められる。</li> <li>適切な工数・単価に基づき積算されており、妥当である。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築 その他	3年度所要額 42,803 千円
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価と同じ。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築 その他	3年度予算額 42,803 千円
10	AIを活用した認知症研究事業（福祉保健局高齢社会対策部）	区分	その他ICT	運用開始	令和 2 年度	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターに対して特別運営費交付金を交付し、センターが有する臨床・研究に係るビッグデータの活用や、AI等の最先端技術の駆使により、5年間の事業期間において認知症予防に関する画期的な研究を推進する。</li> </ul>					
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年6月に発出された認知症施策推進大綱においては、「認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指す」として、「予防」を施策の柱としている。</li> <li>認知症予防に向けた取組を一層推進していくためには、臨床・研究に係るビッグデータやAI等、最先端技術を活用していくことが必要である。</li> </ul>					
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターに設置した「認知症未来社会創造センター」において、令和2年度に実施する「TOKYO健康長寿DB」やAI診断システムの構築状況等を踏まえ、3年度においては、以下の取組を実施する。</li> </ul> <p>【令和3年度の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビッグデータを格納した「TOKYO健康長寿DB」のセンター内運用開始</li> <li>AI診断システムについては、脳疾患診断システムの院内検証等</li> <li>AIチャットボットについては、機械学習の開始と臨床トライアル等</li> <li>地域コホート研究データの統合の完了</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築 その他	3年度見積額 510,000 千円 2年度予算額 1,000,000 千円
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>センターでは、アミロイドPET実証研究などを通じて、認知症予防への貢献が期待できる膨大なデータが蓄積されている。</li> <li>ビッグデータのAIを用いた分析や特徴点抽出等は、近年特に精度が向上していることもあり、臨床・研究分野でも大きな貢献が期待される。</li> <li>センターでは、オープンデータ化も進めており、データ利活用の範囲を広げるためにも、データフォーマットの標準化や、個人情報に配慮して取り組むことも重要である。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築 その他	実効性・実現性 からの評価  3年度予算額 510,000 千円
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>最先端技術を活用した認知症予防に関する画期的な研究の推進が期待できることから、本事業を着実に進捗させるため、見積額のとおり計上する。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築 その他	3年度予算額 510,000 千円

## 事業評価票（デジタル関係予算）

11	独法化（人事系）システム（病院経営本部サービス推進部）	区分	情報システム	運用開始	令和 4 年度								
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>都立病院及び公社病院の地方独立行政法人化に伴い、新法人における人事給与等制度に対応した人事系のシステム（人事給与システム、勤怠管理システム及び庶務事務システム）を構築する。</li> </ul>												
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院経営本部が利用する人事給与システムは総務局所管であり、地方独立行政法人化後に利用することができず、新規構築が必要である。</li> <li>病院経営本部が所管する勤怠管理システム及び庶務事務（旅費精算）システムについても、新制度対応や業務範囲変更に伴い、再構築が必要となる。</li> <li>なお、東京都保健医療公社では、庶務事務システムが導入されていない。</li> </ul>												
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方独立行政法人化した新法人における人事系の業務を円滑に行うため、新法人の制度、業務に対応する人事給与システム・勤怠管理システム及び庶務事務システムを開発する。</li> </ul> <p>【令和3年度見積事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人事給与システム開発及び運用経費（委託、機器）</li> <li>勤怠管理システム開発及び運用経費（委託、機器）</li> <li>庶務事務システム開発及び運用経費（委託、機器）</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">拡大 充実</td> <td style="width: 50%;">見直し 再構築</td> </tr> <tr> <td>移管 終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #FFFF00;">3年度見積額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">863,282 千円</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FFFF00;">2年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">- 千円</td> </tr> </table>			3年度見積額	863,282 千円	2年度予算額	- 千円
拡大 充実	見直し 再構築												
移管 終了	その他												
3年度見積額													
863,282 千円													
2年度予算額													
- 千円													
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>各システムに係る経費は、関連制度の検討と並行しながら、事業者から意見を聴取した上で積算されている。</li> <li>今後、調達までに、関連制度の検討状況等を踏まえて、更なる要件の詳細化が必要である。</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">拡大 充実</td> <td style="width: 50%;">見直し 再構築</td> </tr> <tr> <td>移管 終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #FFFF00;">3年度所要額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">863,282 千円</td> </tr> </table>			3年度所要額	863,282 千円		
拡大 充実	見直し 再構築												
移管 終了	その他												
3年度所要額													
863,282 千円													
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">拡大 充実</td> <td style="width: 50%;">見直し 再構築</td> </tr> <tr> <td>移管 終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #FFFF00;">3年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">863,282 千円</td> </tr> </table>			3年度予算額	863,282 千円		
拡大 充実	見直し 再構築												
移管 終了	その他												
3年度予算額													
863,282 千円													

  

12	電子カルテシステム等（病院経営本部サービス推進部）	区分	情報システム	運用開始	平成 15 年度								
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療情報等を電子データとして編集・管理するとともに、病院における医療事務の基本業務（患者受付、入院管理、診療会計、収納、保険請求、統計等）を効率的に行うためのシステムである。</li> </ul>												
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発した第三世代電子カルテシステムについて、各病院への導入を計画どおりに行う必要がある。</li> <li>大塚病院大規模改修工事の進捗に合わせ、システム対応を迅速に行う必要がある。</li> </ul>												
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三世代電子カルテシステムの多摩総合医療センター、神経病院及び小児総合医療センターへの導入委託、機器リース、遠隔地データセンターの利用及び通信回線に係る経費を計上する。</li> <li>現行（第二世代）及び第三世代電子カルテシステムの機器リース及び運用、システム改修に係る経費等を計上する。</li> <li>大塚病院大規模改修工事に対応するためのネットワーク設計及びシステム移設、機器リースに係る経費を計上する。</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">拡大 充実</td> <td style="width: 50%;">見直し 再構築</td> </tr> <tr> <td>移管 終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #FFFF00;">3年度見積額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4,012,811 千円</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FFFF00;">2年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3,478,650 千円</td> </tr> </table>			3年度見積額	4,012,811 千円	2年度予算額	3,478,650 千円
拡大 充実	見直し 再構築												
移管 終了	その他												
3年度見積額													
4,012,811 千円													
2年度予算額													
3,478,650 千円													
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三世代電子カルテに係る経費は、適切に積算されており、妥当である。</li> <li>その他の経費についても、契約実績等を踏まえ、適切に積算されており、妥当である。</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">拡大 充実</td> <td style="width: 50%;">見直し 再構築</td> </tr> <tr> <td>移管 終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #FFFF00;">3年度所要額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4,012,811 千円</td> </tr> </table>			3年度所要額	4,012,811 千円		
拡大 充実	見直し 再構築												
移管 終了	その他												
3年度所要額													
4,012,811 千円													
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">拡大 充実</td> <td style="width: 50%;">見直し 再構築</td> </tr> <tr> <td>移管 終了</td> <td>その他</td> </tr> </table>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #FFFF00;">3年度予算額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4,012,811 千円</td> </tr> </table>			3年度予算額	4,012,811 千円		
拡大 充実	見直し 再構築												
移管 終了	その他												
3年度予算額													
4,012,811 千円													

## 事業評価票（デジタル関係予算）

13	都立病院統合院内LANシステム（病院経営本部サービス推進部）	区分	情報システム	運用開始	平成 21 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>各病院の情報共有ネットワーク（院内LAN）をデータセンタに集約して一元管理し、都立病院全体として運用体制の構築を可能にすることで、サイバーセキュリティ（アンチウイルス適用、ファイルサーバ整備）や情報の共有化（グループウェア）を実現するシステムである。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>各病院の臨床研究支援及び事務業務の円滑な実施を支援するため、本システムを安定的に稼働させる必要がある。</li> </ul>				
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> <li>本システムを安定的に稼働させるために必要な経費を計上する。</li> </ul> <p>【令和3年度見積事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>統合院内LAN運用経費（委託、機器、通信回線費用）</li> <li>研究データ用ファイルサーバ運用経費（機器）</li> <li>都立病院庶務事務システム運用経費（委託、機器）</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度見積額		177,097 千円	
		2年度予算額		195,295 千円	
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績の反映や作業の見直し等を積極的に実施した上で、適切な工数・単価に基づき積算されており、妥当である。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度所要額		177,097 千円	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度予算額		177,097 千円	
14	東京港港湾情報システム（港湾局港湾経営部）	区分	情報システム	運用開始	昭和 63 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都港湾管理条例に基づく港湾施設の使用許可申請・届出等の手続を担う、東京港に係る業務運営・情報管理の中核となるシステムである。NACCS（府省共通ポータル、港湾EDIシステム）やMPN（マルチペイメントネットワーク）への適応等、外部システムとの連携も行い、利便性の向上を図っている。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年11月にリース期間が終了し、再リースしているが、サーバー内部及びUPSのバッテリーの機能補償期間を経過しており更新が必要である。</li> <li>ホームページの開発環境が古いままとなっている。</li> <li>電子申請業務を処理する機器が冗長化されておらず、システム障害やソフトウェアアップデート等によりサービスの提供を継続できなくなる恐れがある。</li> </ul>				
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連機器の入替・設定作業を行う。その際、DBソフトウェアが機器更新後の新バージョンに対応していないため、新バージョンへの改修対応を行う。</li> <li>ホームページの開発環境を更改し、今後の円滑な保守及び改修を可能にする。</li> <li>二重化されていないサーバー類を冗長化させ、電子申請機能の停止を防ぎ、ユーザーの利便性の向上を図る。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度見積額		133,064 千円	
		2年度予算額		20,646 千円	
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器更改に係る経費について、必要性は認められるが、作業内容や機器構成等について更なる要件の整理や詳細化が必要である。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度所要額		133,064 千円	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
		3年度予算額		133,064 千円	

## 事業評価票（デジタル関係予算）

15	調布飛行場スポット管理システム（港湾局離島港湾部）	区分	情報システム	運用開始	平成 15 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>調布飛行場スポット管理システムは、調布飛行場における飛行場利用に関する申請等に利用されている。システムに蓄積された情報は空港使用料の算定や地元自治体に提供する統計資料の作成等にも活用されている。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度の都営空港条例改正等に伴い、空港使用料の算定方法や統計資料の作成方法に変更が生じたが、この変更に対応できていない。</li> <li>申請を書面で受け付けているため、都の受託者において情報を手作業で入力しており、申請手続の煩雑さや入力ミスの誘発などの課題を抱えている。</li> </ul>				
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>届出のオンライン申請化により空港利用者の利便性向上を図る。</li> <li>申請されたデータをスポット管理システムと連携させることで、一層の事務省力化及び正確性向上を図る。</li> <li>令和元年度に実施した「調布飛行場スポット管理システム再構築に係る策定支援業務委託」の検討結果に基づき、新システムを構築する。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
			3年度見積額		
			58,352 千円		
			2年度予算額		
			- 千円		
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>新システムの構築に係る経費については、複数の事業者から意見を聴取した上で、積算されており、構築スケジュールに照らして一部の作業に見直しを要するものの、積算は妥当である。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
			3年度所要額		
			55,607 千円		
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
			3年度予算額		
			55,607 千円		

  

16	東京都財務会計システム（会計管理局管理部）	区分	情報システム	運用開始	平成 18 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算計数情報システム等との連携により、予算の執行管理や納入通知書の発行を行うとともに、複式情報を自動的に蓄積して財務諸表を作成するなど、会計情報を一元的に管理し、予算執行及び決算調整事務を支援するシステムである。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>OS変更及びプログラムの大規模な改修を行うシステム更新（令和6年度）の準備を滞りなく進める必要がある。</li> <li>複写機能、固有認証パスワード等に係る機能を追加する必要がある。</li> </ul>				
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都財務会計システムの安全性・信頼性を引き続き確保するため、システムの運用に係る経費を計上する。</li> </ul> <p>【令和3年度見積事項】 業務運用場所移転経費等、システム更新経費、複写機能、固有認証パスワード等に係る機能追加 等</p>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
			3年度見積額		
			414,470 千円		
			2年度予算額		
			150,192 千円		
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム更新に係る経費については、複数の事業者から意見を聴取した結果を参考に精査されたものであり、妥当である。</li> <li>機能追加に係る経費については、具体的な実現内容に基づいて積算されており、妥当である。</li> <li>その他の経費についても、具体的な根拠に基づいて積算されており、妥当である。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
			3年度所要額		
			414,470 千円		
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>	拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
			3年度予算額		
			414,470 千円		



## 事業評価票（デジタル関係予算）

17	都立学校教育用ネットワークシステム（教育庁総務部）	区分	情報システム	運用開始	平成 21 年度	
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校における情報通信技術の活用を推進するため、全ての都立学校のLAN環境を整備するとともに、デジタル機器を配備することを目的として、都立学校教育用ネットワークシステムを平成21年度に構築し、27年度及び令和2年度に再構築を実施している。</li> </ul>					
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の指針として、今後生徒が一人一台の端末を利用した授業の実施、拡大が求められており、この対応のため、無線LAN環境を整備し、BYOD・CYOD（生徒の所有するデジタル機器の活用）に対応する必要がある。</li> <li>統合型学習支援サービスを都立学校全校に展開するに当たり、機能追加等を実施する必要がある。</li> </ul>					
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行システムの運用については、実績を踏まえて精査を行い、必要な経費を計上する。</li> <li>無線LAN環境整備に必要なシステムに係る経費を計上する。</li> <li>統合型学習支援サービスの都立学校全校に展開するために必要なシステムに係る経費を計上する。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実  <input type="radio"/> 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築  <input type="radio"/> その他	3年度見積額 2,842,763 千円 2年度予算額 2,622,235 千円
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>機器や運用に係る経費については、実績等を踏まえて適切に積算されており、妥当である。</li> <li>無線LAN環境整備に係る経費については、明確な根拠に基づき積算されており、妥当である。</li> <li>統合型学習支援サービス全校展開は、令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策を受けての対応であり、その必要性は認められ、適切に積算されている。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実  <input type="radio"/> 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築  <input type="radio"/> その他	3年度所要額 2,842,763 千円
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に加え、運用経費について、内容を精査し一部減額調整を行った。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実  <input type="radio"/> 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築  <input type="radio"/> その他	3年度予算額 2,818,861 千円
18	都立学校統合型校務支援システム（教育庁総務部）	区分	情報システム	運用開始	令和 4 年度	
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人一人の力を最大限に伸ばす質の高い教育の実現及び校務の効率化を図ることを目的としたTOKYOスマート・スクール・プロジェクトを実現するため、生徒の在席、出席、履修及び成績等の校務情報を管理する統合型校務支援システムを導入する。</li> </ul>					
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習情報と校務情報を分析し質の高い教育を実現するためには、校務情報を管理する統合型校務支援システムにおいて、データ連携が可能となる仕組みが必要であり、拡張性の高いシステムの導入が求められる。</li> <li>校務効率化を図るため、使用性が高い画面構成が必要である。</li> </ul>					
見積概要 （局評価）	<ul style="list-style-type: none"> <li>都立高等学校及び小学校における令和4年度の統合型校務支援システムの運用開始に向け開発及び研修に係る経費を計上する。</li> <li>統合型校務支援システムを運用するデータセンター及びサーバー式の賃借に係る経費を計上する。</li> <li>新入生のデータ作成等教員の習熟のため、研修指導に係る経費等を計上する。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実  <input type="radio"/> 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築  <input type="radio"/> その他	3年度見積額 1,691,742 千円 2年度予算額 962,513 千円
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>構築に係る経費は、複数の事業者から意見を聴取した上で積算されている。構築に当たっては、要件定義を踏まえた仕様及び積算内訳の詳細化を踏まえ、競争性に留意した調達が必要である。</li> <li>機器に係る経費は、想定される構成等に基づき積算されている。今後設計等に基づき機器構成を確定し、複数事業者からの意見を踏まえるなど、競争性を担保した調達が求められる。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実  <input type="radio"/> 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築  <input type="radio"/> その他	3年度所要額 1,691,742 千円
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>			<input checked="" type="radio"/> 拡大 充実  <input type="radio"/> 移管 終了	<input type="radio"/> 見直し 再構築  <input type="radio"/> その他	3年度予算額 1,691,742 千円

## 事業評価票（デジタル関係予算）

19	教育庁庶務事務システム（教育庁総務部）	区分	情報システム	運用開始	令和 4 年度
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>都立学校において紙の様式で行っている休暇・職免等処理簿を電子化し、申請・承認に係る業務を効率化するとともに、服務関係データと連携させ教職員の適正な服務管理を図る。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>都立学校は休暇・職免等処理簿が紙であることから、申請・承認に時間を要している。また、出張命令を管理する旅費システムと出退勤を管理する出退勤管理システムが連携していないことから、服務管理業務の負担が大きい。これらを改善するため、各種申請のシステム化と、関連システムとの連携が必要である。</li> </ul>				
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度の都立学校全校の運用開始に向けた設計及び開発費を計上する。</li> <li>休暇・職免等処理簿の電子化をはじめ、学校内での服務に関する意思決定のペーパーレス化を図るシステム構築に係る経費を計上する。</li> <li>庶務事務システムを運用するデータセンター及びサーバー式の賃借に係る経費を計上する。</li> <li>旅費システムから出張及び研修データを連携するための連携サーバの賃借に係る経費を計上する。</li> <li>出退勤管理システムから出退勤の打刻情報を連携するためのシステム改修に係る経費を計上する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">拡大 充実</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">見直し 再構築</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">移管 終了</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">その他</span> </div>
		3年度見積額			
		518,962 千円			
		2年度予算額			
		- 千円			
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムの構築に係る経費については、仕様を確定した上で、複数の事業者から意見を聴取して積算されており、妥当である。</li> <li>機器に係る経費については、導入パッケージにより機器の構成が変わることを踏まえ、パッケージ決定後の確定した構成をもって複数の事業者から意見を聴取する等、競争性を担保して調達する必要がある。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">拡大 充実</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">見直し 再構築</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">移管 終了</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">その他</span> </div>
		3年度所要額			
		518,962 千円			
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">拡大 充実</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">見直し 再構築</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">移管 終了</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">その他</span> </div>
		3年度予算額			
		518,962 千円			
20	AIを活用した異常渋滞検知と高速走行抑制設計の自動化 (警視庁交通部)	区分	その他ICT	運用開始	令和 3 年度
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIを活用し、交通管制システムに蓄積された統計処理データを融合させ、異常渋滞の予測を行い、速やかな信号介入を実施し、交通流の円滑化を図る。</li> </ul>				
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状では、急激な気象の変化や交通事故に伴う渋滞を認知した場合、状況を把握してから、情報提供の実施、信号調整を手動で実施しているが、時間を要し、渋滞長が伸び、信号介入効果が限定的にとどまる場合がある。</li> </ul>				
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通管制システムに蓄積された統計処理データを活用し、AIサーバに交通関係情報の規則性を理解させ、現在の渋滞、交通量情報、交通規制計画、気象情報等から将来の交通量、渋滞長を予測するとともに、予測結果に基づき「調整すべき信号機の抽出」、「信号調整案の作成」を行う機能を有するシステムを構築する。</li> </ul> <p>【令和3年度見積事項】 AIサーバ活用（異常渋滞検知、高速走行抑制）に向けたソフト改修費用</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">拡大 充実</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">見直し 再構築</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">移管 終了</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">その他</span> </div>
		3年度見積額			
		88,171 千円			
		2年度予算額			
		97,350 千円			
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な分野でAIによる予測分析が導入されており、道路交通分野においても研究が進んでいるため、本事業においても活用が期待できる。</li> <li>より現実に近い予測を実現するためには、AIによる分析精度向上に向けて、複合的に関連する新たな分野のデータを増やすなど、システムのバージョンアップに取り組むことが重要である。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">拡大 充実</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">見直し 再構築</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">移管 終了</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">その他</span> </div>
		実効性・実現性からの評価			
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>AIを活用した取組の実用性や重要性が増す中、道路交通分野において、渋滞予測による交通管制の制御や蓄積データに基づく高速走行抑制の信号設計を可能とする本取組の必要性は認められる。</li> <li>作業の自動化により、職員の作業時間削減が見込まれるとともに、費用対効果も十分であることから、見積額のとおり計上する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">拡大 充実</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">見直し 再構築</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">移管 終了</span> </div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> <span style="font-size: 8px;">その他</span> </div>
		3年度予算額			
		88,171 千円			

## 事業評価票（デジタル関係予算）

21	中央卸売市場収納管理事務システム（中央卸売市場管理部）	区分	情報システム	運用開始	令和 4 年度												
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央卸売市場会計に係る収入調定や納入通知書の作成、債権管理などを行い、効率のかつ適切な収納事務を支援するシステムである。</li> </ul>																
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行システムはバッチ処理方式が採用され、データ処理の反映や確認が即時にできない。</li> <li>本庁及び各市場の担当者による現状の収入事務は手作業が多く、効率的な業務フローとなっていない。</li> <li>市場運営のための分析等にデータを活用するためには、システム保守運用業務の受託者からデータを取り寄せる必要があり、現状、十分な活用ができていない。</li> </ul>																
見積概要 (局評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>システム全体をオンライン化し、即時のデータ処理・反映を行うとともに、収納事務の自動化を図ることで、効率化を実現する。</li> <li>オンラインシステムから適時入手可能となるデータ【経費削減効果(年間)】を市場運営に活用していく。</li> <li>事務効率化等により、運用に係る経費の削減を見込んでいる。</li> </ul> <p>【令和3年度見積事項】 保守運用経費、システム再構築経費等</p>			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">拡大 充実</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">見直し 再構築</td> </tr> <tr> <td>移管 終了</td> <td style="text-align: center;">その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><b>3年度見積額</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">101,028 千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><b>2年度予算額</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">48,270 千円</td> </tr> </table>		拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	<b>3年度見積額</b>		101,028 千円		<b>2年度予算額</b>		48,270 千円	
拡大 充実	見直し 再構築																
移管 終了	その他																
<b>3年度見積額</b>																	
101,028 千円																	
<b>2年度予算額</b>																	
48,270 千円																	
ICT推進部 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムの再構築については適切に積算されている。</li> <li>引き続き要件定義を踏まえた仕様等の詳細化が必要である。</li> </ul>			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">拡大 充実</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">見直し 再構築</td> </tr> <tr> <td>移管 終了</td> <td style="text-align: center;">その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><b>3年度所要額</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">101,028 千円</td> </tr> </table>		拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	<b>3年度所要額</b>		101,028 千円					
拡大 充実	見直し 再構築																
移管 終了	その他																
<b>3年度所要額</b>																	
101,028 千円																	
財務局評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記評価に同じ。</li> </ul>			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">拡大 充実</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">見直し 再構築</td> </tr> <tr> <td>移管 終了</td> <td style="text-align: center;">その他</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"><b>3年度予算額</b></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">101,028 千円</td> </tr> </table>		拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他	<b>3年度予算額</b>		101,028 千円					
拡大 充実	見直し 再構築																
移管 終了	その他																
<b>3年度予算額</b>																	
101,028 千円																	